

別添資料7 『意思決定会計』科目概要(2005年度シラバスより抜粋)

科目名	意思決定会計
授業内容	<p>本講義では、企業の各種の意思決定問題に関連する原価と収益の情報、あるいはキャッシュフローの情報をどのように認識し、現在それらをどのように利用し分析して、経営管理者に適切な提供すべきかを、企業経営の様々な局面を取り上げて数字例ケースとして設定し、この解析を行わせることによって理解させることを目的とする。コンピューター時代の企業の意思決定のための会計のフレームワークの理解が目的である。</p> <p>本講義で取り扱うトピックスとしては、意思決定の基本的な理論である差額利益概念と、この構成要因としての差額利益・差額原価概念の意味とその基盤の解明から、長期的意思決定と短期的意思決定での問題の相違と方法を、数字的ケースによって受講生自身の解析を課しながら取り上げる。これに関連して、直接原価計算の役立ち、限界利益概念の意味、CVP関連分析、セグメント別の損益、セールズミックスの決定問題を含めた線形計画問題(特にパソコンを利用した分析)、活動基準原価計算(ABC)の効用と限界、戦略的意思決定問題を取り上げる。時間的な余裕を見てライフサイクル・コストニング、品質原価計算の問題にも触れたい。</p> <p>本講義の課題は終了時に於いて受講者が、意思決定の問題に正しく対応できる能力を持ち、わが国の職業会計人に必要な経営意思決定のための理論と実践の知識によって、問題を体系的で理論的な考察によって取り上げることができ、経営管理者に適切な情報を提供できるようになることである。このため、毎時間にパソコンによる問題の分析を行わせて、パソコンの利用と統計的な手法および決定の確かさの分析等を、実践的に取り上げる学習を重視する。</p>